

長崎でも「妊婦さんへの医療費助成」を

子育て世代13000人の声を発表

厚労省は、6月に2020年妊娠届は「前年比4・8%減の87万2227件」と発表し

ました。少子化に新型コロナウイルスの感染拡大が大きいのか、今年度の出生数はさらに80万人を割り込むことが予想されてい

ます。我が国の人口減少問題は深刻さを増しています。

青森・岩手・栃木・富山の4県では、県主体の制度を創設しています。

協会では、こども医療長崎ネット（協会も加入）と協力して、妊産婦医療費助成制度に関する県民対象のアンケートに取り組み、子育て世代を中心に13000人から回答が寄せられました。

寄せられた県民の声は、速報値として、6月17日に県庁で記者発表し（2面に関連記事）、併せて、「妊産婦を対象とする医療費助成制度の創設」などの6つの事項（別掲）を求める要望書を県に提出しました。



記者会見で妊婦さんへの支援を訴えるお母さん（上）、マスコミの注目を集めた県民の声（右）

現在、こども医療費助成制度は全国に拡がり、家計の負担を軽減し、子育て支援の有効な施策となっていますが、同様に、妊産婦医療費助成制度を実施し、妊婦さんの負担軽減を実施している自治体は全国にあることをご存じでしょうか。また、妊産婦健診の実施も自治体によって差異があります。

妊産婦医療費助成制度は、164自治体で実施し、九州では大分の臼杵市のみですが、

9割が妊産婦医療費助成の創設求める “安心して産み育てられる長崎県を” 要望書提出

県議会・マスコミも注目、社会全体でのサポートが必要

県子ども家庭課長に要望書を提出する本田会長



記者発表には本田会長のほか、本アンケートに協力いただいた子育て中のお二人のお母さんも参加しました。マスコミ10社が駆けつけ、関心高く、夕方のニュースで繰り返し報道され、長崎新聞では一面に掲載されました。はじめに、本田会長が

県内の人口構成からしてもかなり高い回収率であり、6割が医療費の自己負担について「高い」と感じ、全体のおよそ9割が「制度の創設を求めたい」と回答しました。このように、患者負担増及び妊娠から出産、子育てに関する経済負担が家計に大きなしかかっている現状が示されました。併せて、「安心して子どもを産むことができる状況になれば、妊産婦の助けになるので制度の意義は非常に大きい」と述べました。

記者からのアンケートに対する感想を尋ねられたところ、お母さんからは「他県から転居してきたが、無理をして頑張っているお母さんが長崎県にはとても多いと感じた。みんなぎりぎりで生活し、頑張っています。行政はぜひ誠実に受け止めて対応していただきたい」「経済的な支援も必要だがメンタルのサポートが行き届いていない。皆何か求めている。一人で頑張らなくてもいい、社会でのサポートが必要」と、自身の経験を踏まえながら、制度の必要性を訴えました。

記者発表後に制度の創設を求める要望書を県に提出しました。本田会長が平川顕作子ども家庭課長に要望書を手渡し、6つの項目の実現を求めました(別掲)。これに対し、同氏は「県としては子育て支援は経済的なことだけでなく、他の施策も含めて総合的に判断してい

きたい」と述べるに止まりました。

【県への要望事項】

- 1、妊産婦を対象とする医療費助成制度の創設について、県が率先して関係各方面との検討を開始し、実現に向けた取り組みをすすめること。
- 2、医療費助成制度の内容として、以下の事項を盛り込むこと。
 - 1) 妊産婦の窓口自己負担額を全額助成すること。
 - 2) 歯科を含む全ての疾患を助成対象とすること。
 - 3) 助成方法は現物給付とすること。
 - 4) 妊婦検診時の超音波検査等の費用も助成対象とすること。
- 3、無料の産後・産後歯科健診制度を創設するとともに、安心して制度を利用できる環境を整備すること。
- 4、妊産婦の精神的不安や産後うつに対する支援策を講じること。
- 5、妊産婦の「孤独」に対する支援策を講じること。
- 6、安心して子どもを産み、育てられる環境を整備すること。

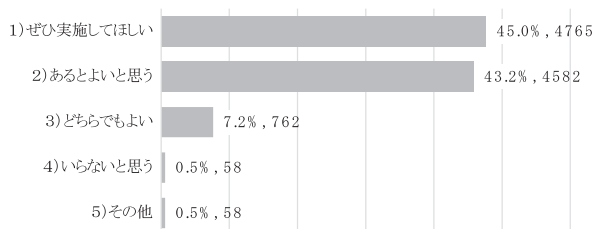
反響大きく県議会で質問も

アンケート結果は各方面に大きなインパクトを与え、反響がありました。マスコミで大きく報道された結果、県議会でもアンケート結果や県への要望が取り上げられるなど、一定の成果を得ることができました。今後は県民13000人の声及びアンケート結果を広く活用しながら、妊産婦への支援が必要なことを県民に訴えます。

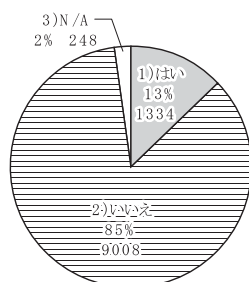
協会では、今後各市町にも要望書を提出する予定です。県議会に限らず、市町議員に働きかけることが重要です。子ども医療費助成制度の対象年齢の拡大も、行政の「コンビニ受診を招く」「財政難」等の対応を県民の切実な声によって、跳ね返り、そして乗り越えてきました。運動はスタートしたばかりです。ご支援の程よろしく願います。

「妊産婦さんの医療費助成に関するアンケート」集計結果 (速報値・抜粋)

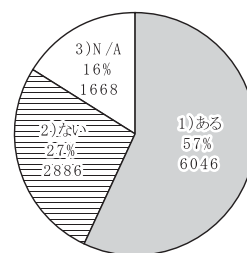
③長崎県内における産後健診・産後歯科健診の実施



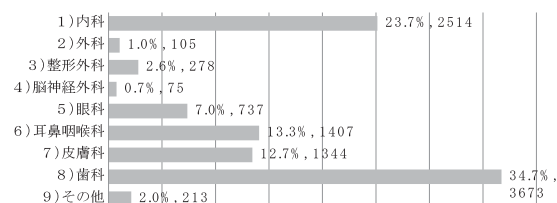
④他県等に「妊産婦医療費助成制度」があることを知っていたか？



①妊娠中に、産婦人科以外の診療科を受診したことがあるか？ (重複可)



→産婦人科以外への受診状況



注: 重複回答があるため合計が100% になりません。

②妊娠期間を通して医療費や健診代にかかる自己負担

⑤「妊産婦医療費助成制度」を長崎県内でも実施してほしいか？

